

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくり  
などについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.5

# 株式会社平和タクシー 株式会社安全タクシー

時代に合わせて進化するタクシー会社  
— 柔軟な働き方の可能性 —

1953年に「株式会社平和タクシー」、1979年にはグループ会社として「株式会社安全タクシー」を設立。現在は創業者の孫となる姉妹がそれぞれの専務取締役に就任し、2人で協力し合いながら高齢化が進むタクシー業界を時代にフィットしたスタイルに進化させようと取り組んでいます。

<https://www.hxataxi.com/>

所在地：岩手県北上市本通り二丁目3番30号

# 時代に合わせて進化するタクシー会社

— 柔軟な働き方の可能性 —

#タクシー

#姉妹で経営

#配車アプリ

#セカンドキャリア

#副業

#子育て世代の短時間勤務

#スキマ時間

#女性が活躍できる環境づくり



## 安全タクシー

おばら かおるこ

専務取締役 **小原 薫子**さん(29)

勤続5年/経営・ドライバー

**薫子さん**）うちは祖父と父が経営していた会社なので、小さい頃からタクシードライバーの仕事は身近でした。でも本格的に働こうと思ったのはコロナ禍ですね。オーストラリアでダンス講師をしてたんですけど、コロナの影響で帰国することになって。その後、家族で話し合ったときに姉から「一緒にやろう」って誘われたのがきっかけでした。

**史織さん**）私はもともと夫の転勤で東京に行く予定だったんです。でもコロナで転勤がなくなり、仕事も辞めてたのでどうしようかと悩んでたら、父から「2人で会社を継がないか？」と言われて決めました。

**薫子さん**）タクシードライバーって、お客さんに背を向けて接客する仕事だから、話し方や相槌の仕方で印象が変わるんですね。目的地までの時間を心地よく過ごしてもらえたらうれしいです。

**史織さん**）私は基本的に事務の仕事が中心ですが、ドライバーが足りないときは運転もします。電話での配車手配もお客さんを待たせずにタクシーを手配できるとうれしいですね。

## 平和タクシー

おばら しおり

専務取締役 **小原 史織**さん(34)

勤続5年/経営・事務・  
ドライバー/お子さん1人(1歳)



**薫子さん)** 地方のタクシー業界って、昔のまま変わっていないイメージがありました。でも時代に合わせて新しいシステムを導入すれば、もっと便利になるし、会社としても成長できると思っています。新しいことにもどんどん取り組んでいこうと思っています。具体的な取組みとしては、2024年春からアプリ配車サービスの運用をはじめ、スマホでタクシーを呼べるようにしました。電話不要で、乗車・降車地点を設定すれば、タクシーの到着予定もわかるんです。最近では「電話が苦手」という方も多いので、「アプリの方が便利」という声が多いですね。あと、雪国ならではの利点もあって、寒い中外で待たずに家の中でタクシーの到着を確認できます。

**史織さん)** アプリだと自分でマップ上に乗車位置のピンを立てていただければタクシーを呼べるので好評です。

**薫子さん)** 電話のやり方に慣れている方には、「わざわざ変える必要はないんじゃないか」という意見もありました。しかし、アプリのメリットも丁寧に伝えたり、お客さまが少しずつ増えてきたことで社内での理解も広がり、今では前向きに取り組んでもらえるようになってきていると思います。



**薫子さん)** タクシー業界は高齢化が進んでいて、私たちの会社でも高齢化は進んでますが、定年後のセカンドキャリアとしてタクシードライバーが定着してきているという部分もあります。

**史織さん)** 実際に、トラック運転手だった方が「運転が好きだから」と定年後にタクシードライバーになる方もいらっしゃいます。

**薫子さん)** タクシードライバーの働き方でいうと、うちは日勤・夜勤・交番（会社が決めた交番に従う働き方）だけじゃなく、パートタイムの働き方にも力を入れています。副業として働く人や、子育て世代が短時間勤務できる仕組みも整えています。例えば、個人事業主の方が自分のやりたい仕事をメインに

しながら、子育て世代や若い世代の方など短時間だけ、スキマ時間を利用して働きたい方も活躍できるように取り組んでいます。働き方がより多様になっていく今後、利用される方が増えていくのではないかと思います。





**史織さん** 子どもを産む前は、仕事の方が大変だと思っていたのですが、実際に子育てしながら働いてみると、子育ての大変さがわかるようになりました。私はお互いの両親やhoKko（北上市が運営する保健・子育て支援複合施設）の一時保育室（お子さんの一時預かりをする施設）だったり、いろいろな方の手を借りながら働けるので本当に有難いことだと思っています。

今ドライバーとして活躍してくださっている女性はお子さんが小さいとき会社に連れてきて応接室で遊ばせながら事務の仕事をされていました。会社も昔から子育てしながら働くことへの理解があるので、私も子どもを連れて事務仕事をしたりもしています。

**薫子さん** 仕事と子育ての両立は私が想像する何倍も大変なことだと思うのですが、姉は大変なときも周りに頼るのが上手なので（笑）会社としても今後はさらに女性が活躍できる環境を整えていくのは大事だと思っているので、子育て中の方もサポートできる体制づくりにももっと取り組んでいきたいと思っています。



**薫子さん** 今後はライドシェアの取り組みに注目しています。ライドシェアは都市部よりも地方の方が活用できると思うので、そういうことにもチャレンジしていきたいですね。会社を良くしたいと思う人たちが周りにたくさんいて、みんなで意見を出し合いながらいろいろ取り組める環境があるというのは恵まれていると思います。

**史織さん** 妹と一緒に会社を継ごうと決めたとき、2人で10年20年先を見据えて、長いスパンで良い会社にしていこうと話し合いました。私たちの会社は県内で最初に「介護タクシー」に取り組むなど地域やお客さまに寄り添うサービスを大切にしてきたので、これからも「信頼」と「安心」をモットーに取り組んでいきたいと思っています。